

介護保険施設等における事故の発生状況について

令和6年度の状況

令和6年4月から令和7年2月末までに、介護保険課に報告書が提出された届出件数は466件でした。令和5年度と比較すると、件数で45件、約9%の減少となっています(511件→466件)。

事故の種別では、骨折(疑いを含む)が385件と最も多く、死亡事故も7件発生しています(資料3参照。死亡事故は前年度と同数)。報告書の提出が一番多かったのは介護老人福祉施設で、続いて住宅型有料老人ホーム、特定施設入居者生活介護となっています(資料1参照)。

事故発生時間帯(確認時間も含む)は、午前中では6時台と10時台の時間帯が多く、午後では14時台と16時台に多く発生しています(資料2参照)。

発生場所は、居室が全体の57%を占める265件、居室内トイレや洗面所を加えると、276件となります(資料4参照)。昨年度と同様に、居室に一人でいる時に転倒するなどして負傷するケースが多く見られました。

また、原因が不明の事故が25件あり、ほとんどが骨折でした。いつの間にか骨折してしまうという事例は、今後も起きると考えられますので、介護サービス中における、より一層の注意が必要となります。

事故は、さまざまな要因により発生します。適正かつ安全にサービスを提供できるよう、個別サービス計画、サービス内容及び設備・構造の再点検等を行い、事故の発生防止に努めてください。

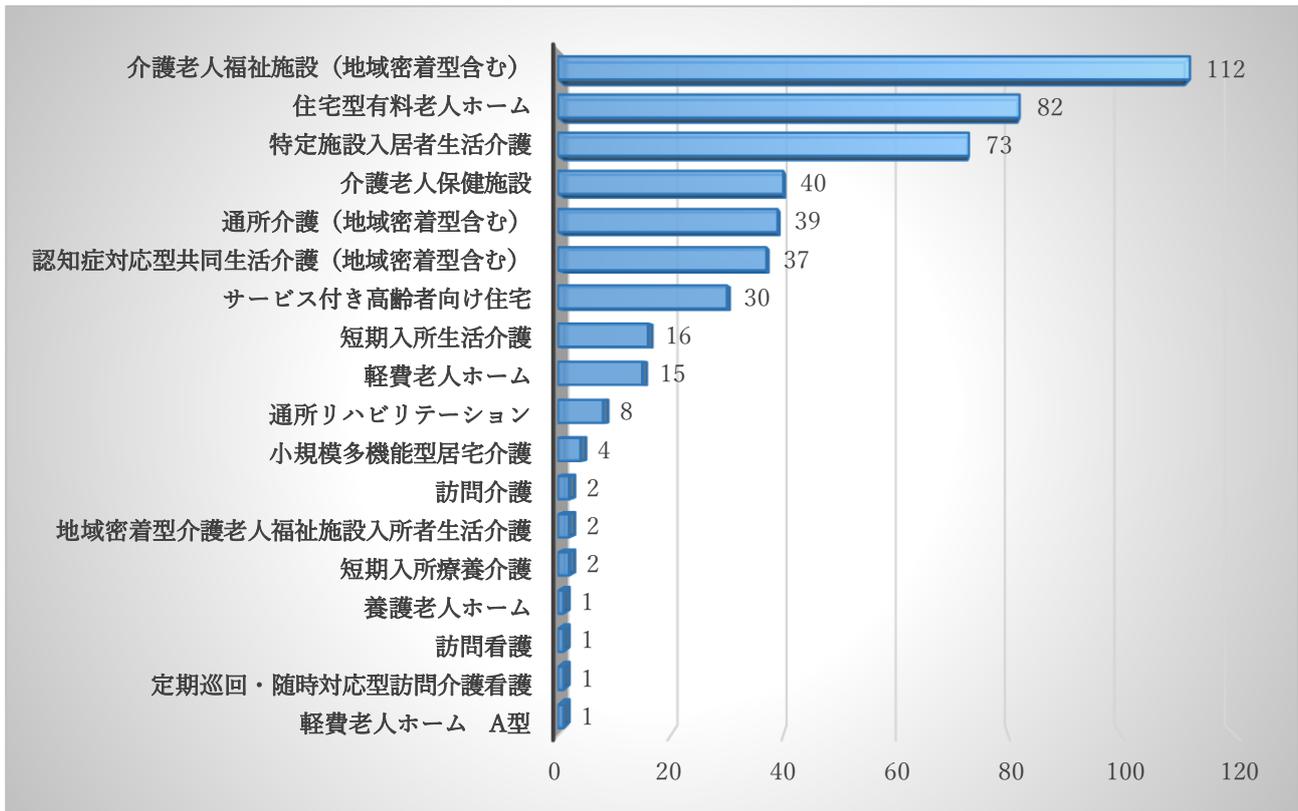
また、万一事故が発生したときは、救急救命措置や救急通報などの緊急対応を行うとともに、法令に則り、速やかに家族・市担当者へ連絡を行い、事故に関する記録等、必要な措置を講じてください。

【注】

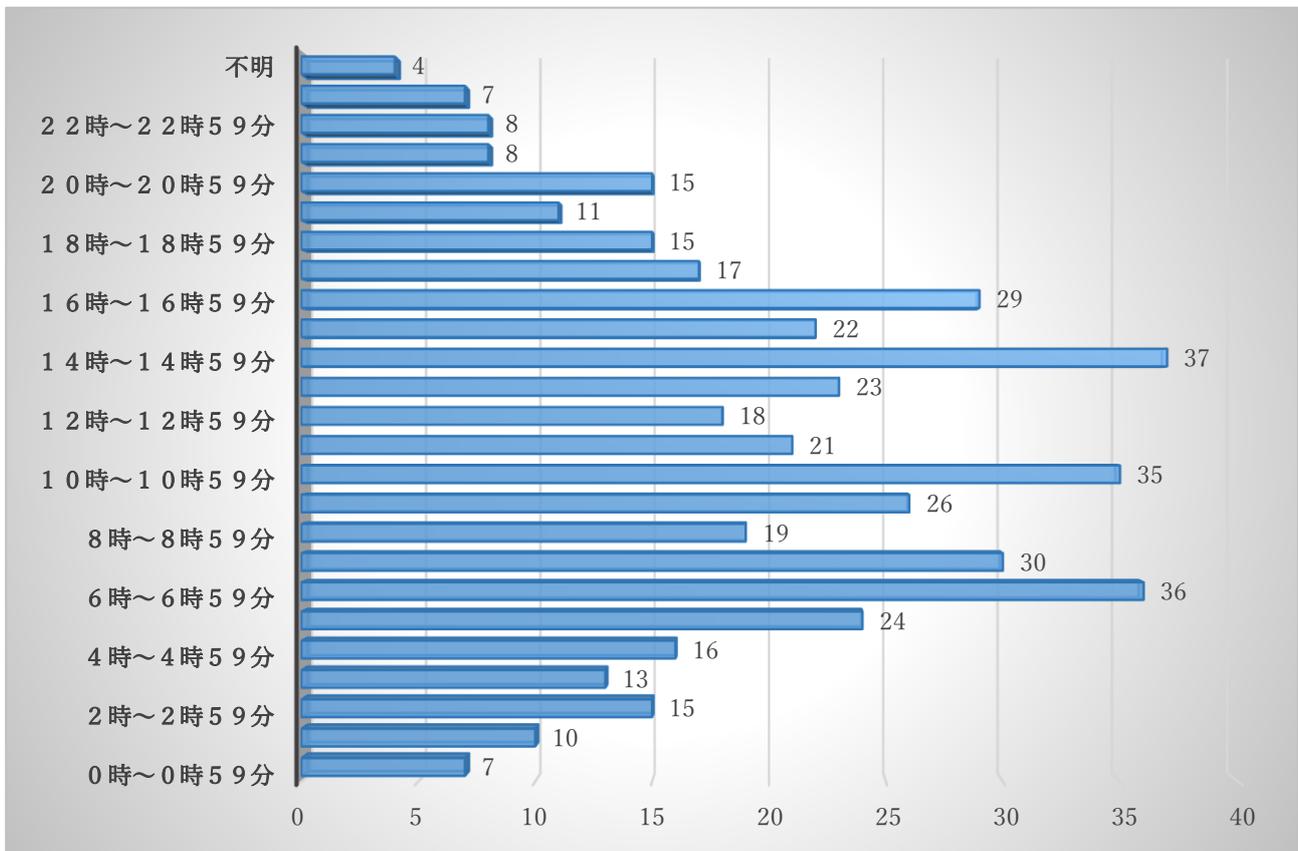
- ①期間内に事業者から届出があった報告の集計のため、本集計値が介護サービス事業者において発生した事故のすべてに関するものではないことをご了承ください。
- ②事故報告するものは、基本的には医療機関を受診したものが対象となります。結果的に治療を行わなかった場合も、報告書は提出してください。
- ③職員などの不祥事で利用者に不利益が生じた場合は、事故報告としての報告をお願いします。

【資料1】 サービス別の届出件数

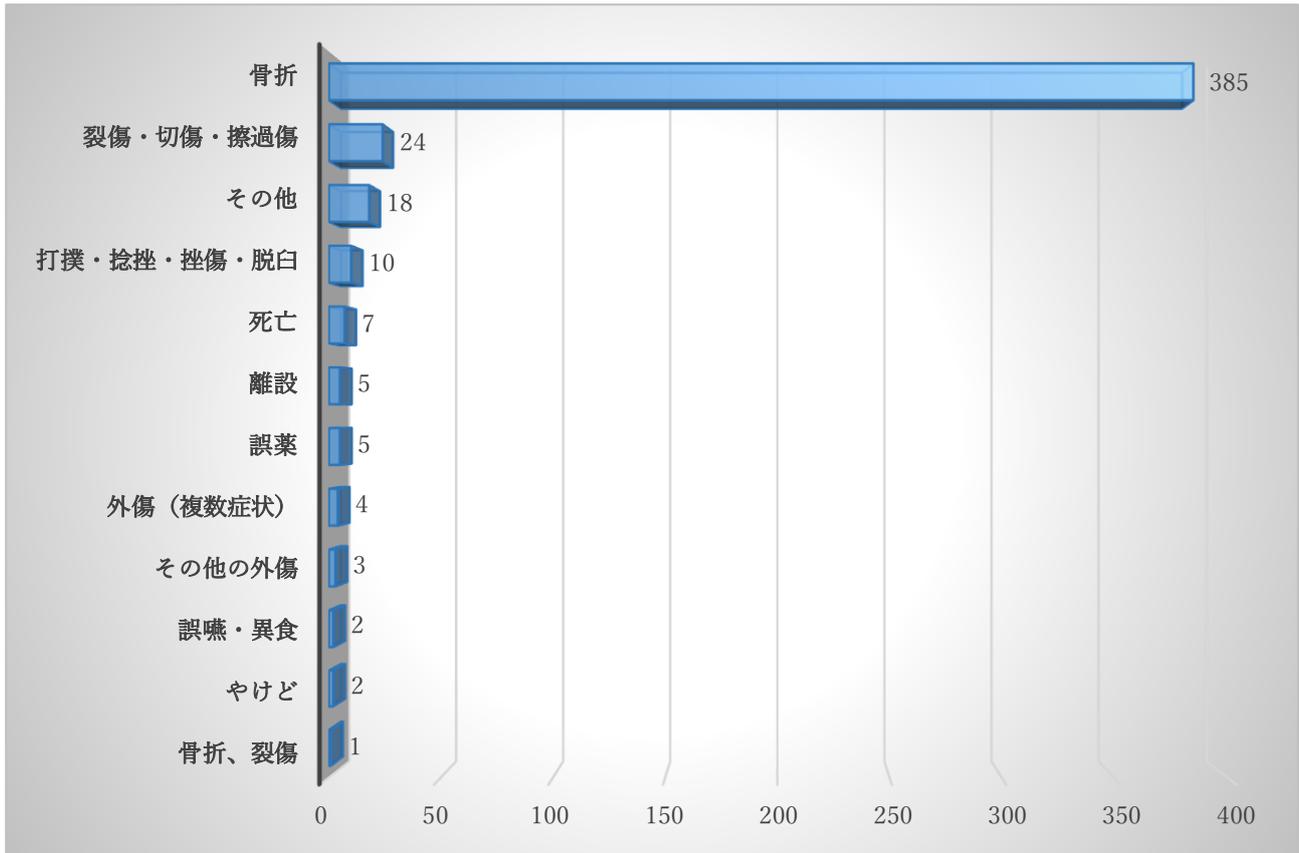
(n=466件 以下同じ)



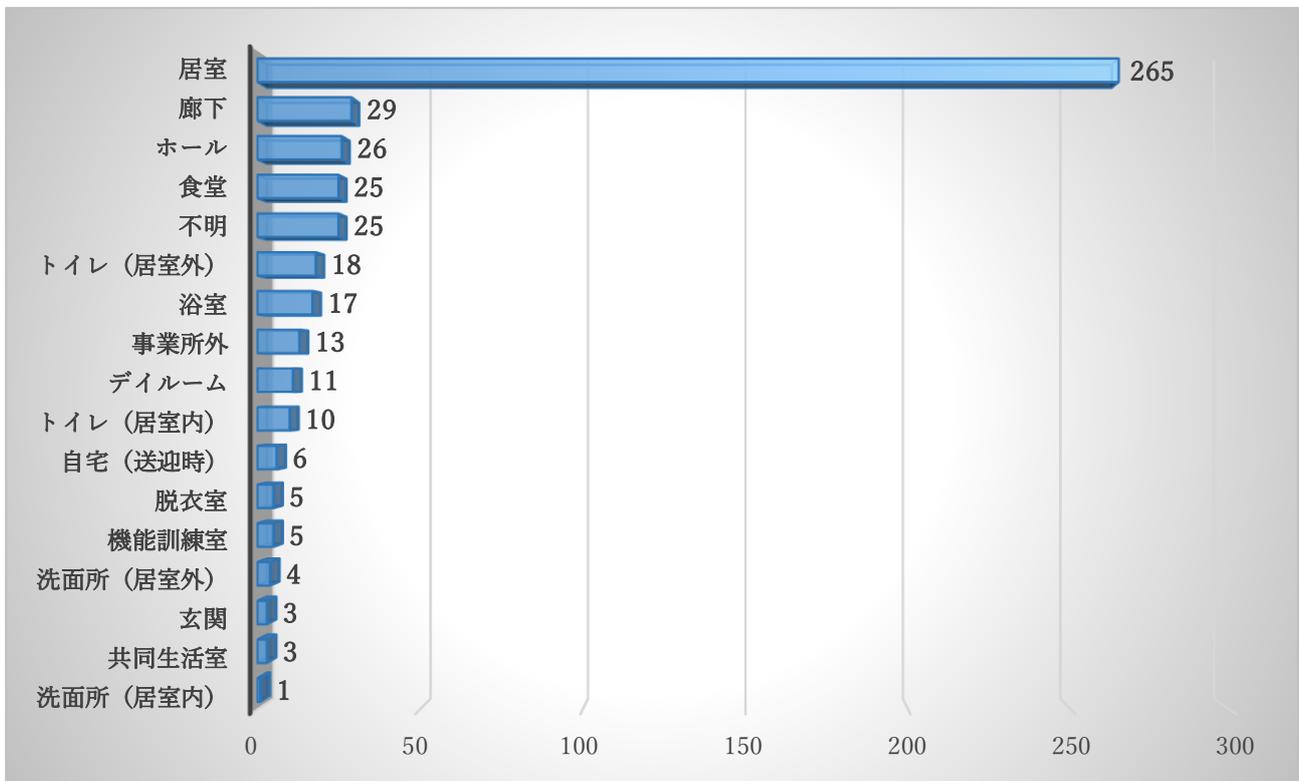
【資料2】 事故発生(確認)時間



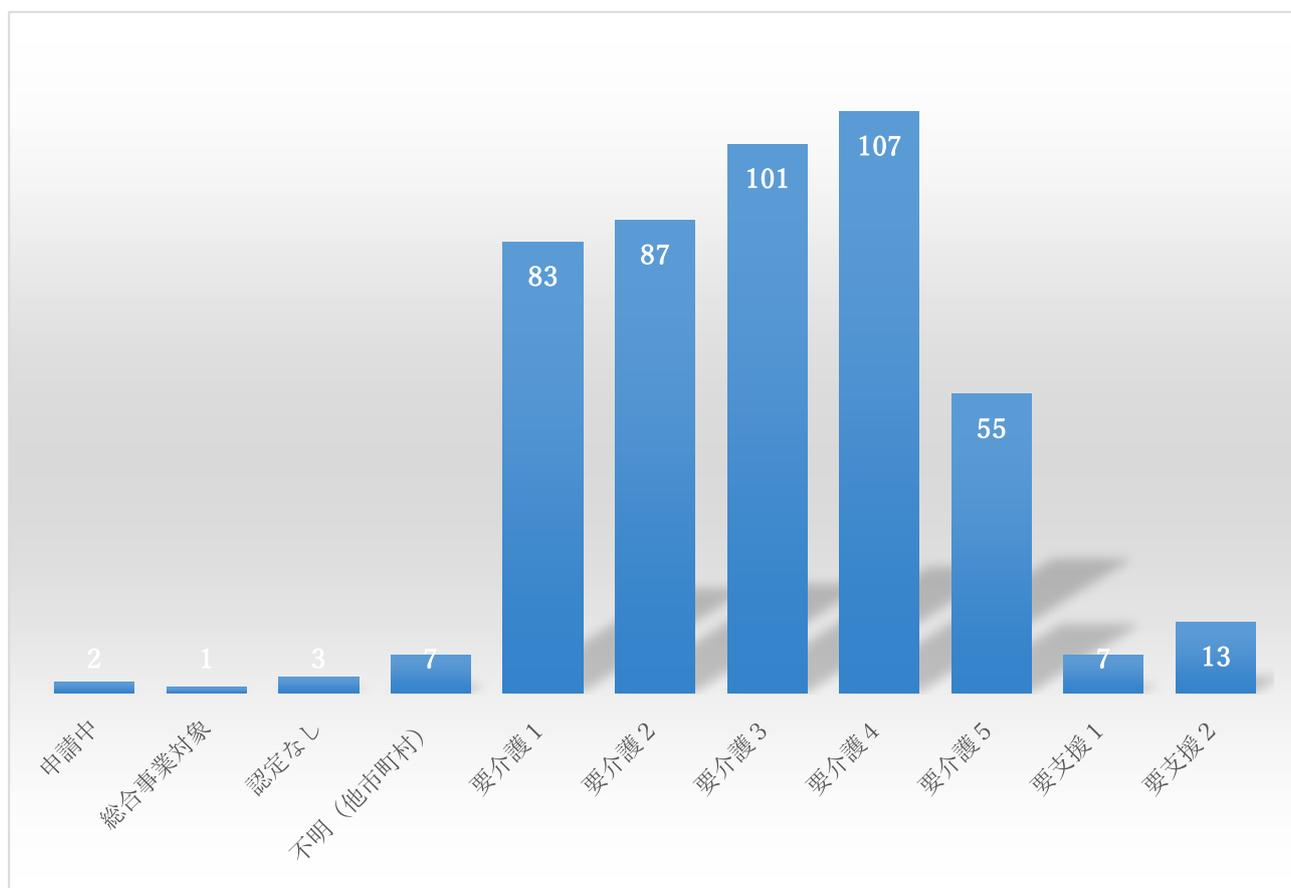
【資料3】事故の種別ごとの件数



【資料4】事故発生場所ごとの件数

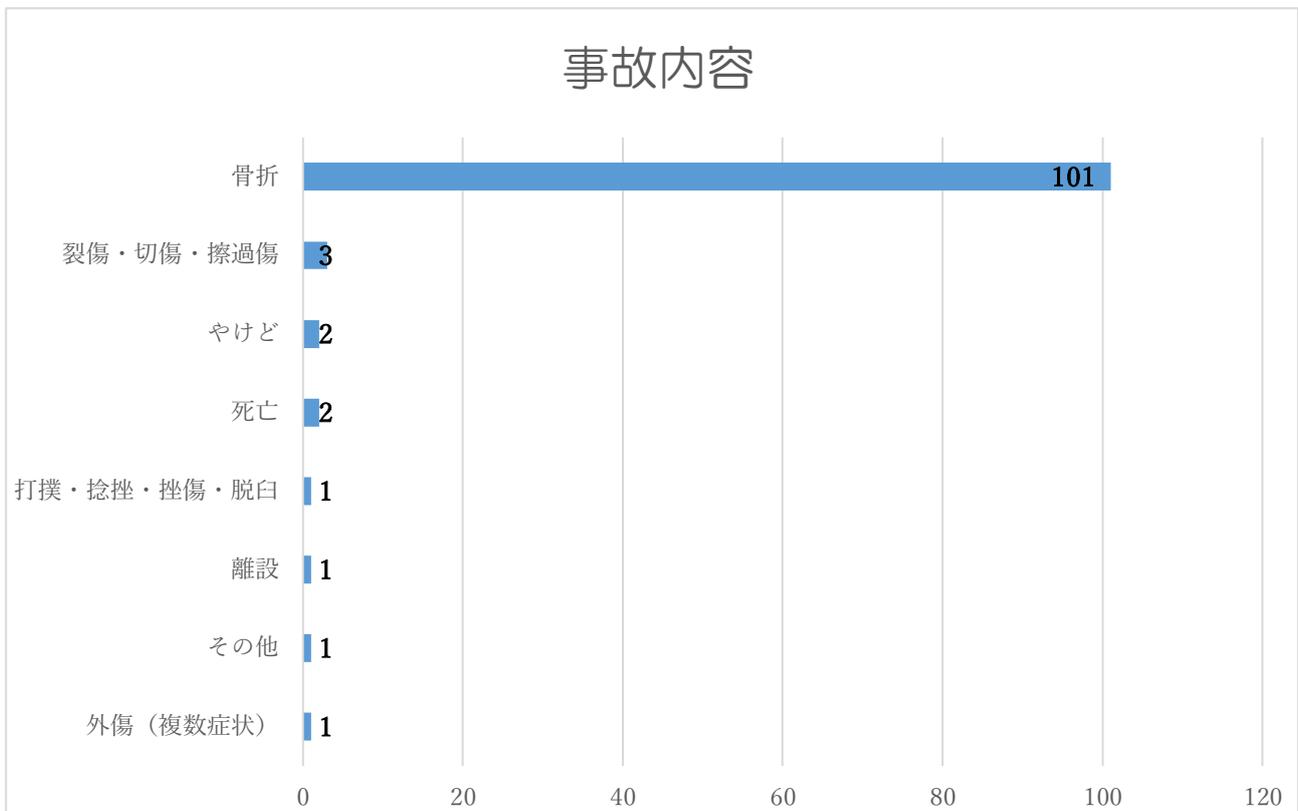
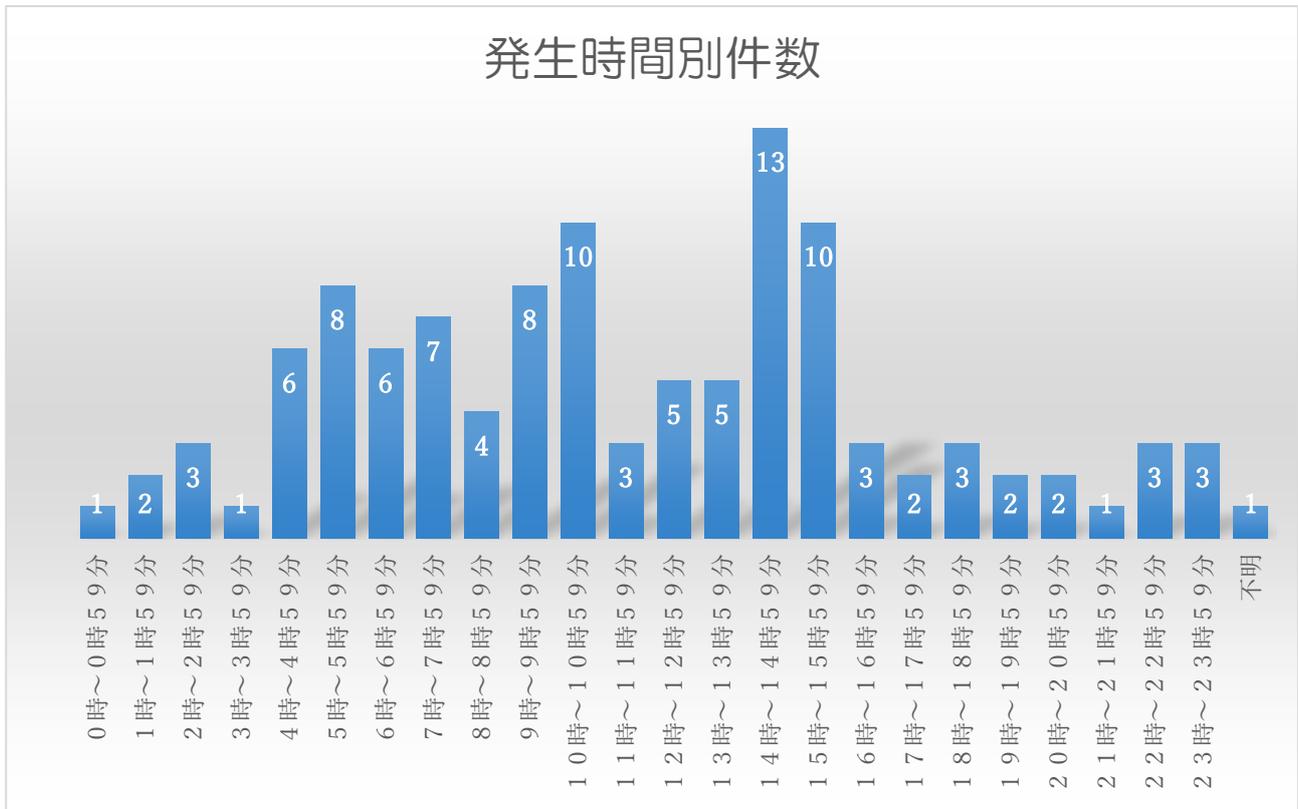


【資料5】介護度別の件数

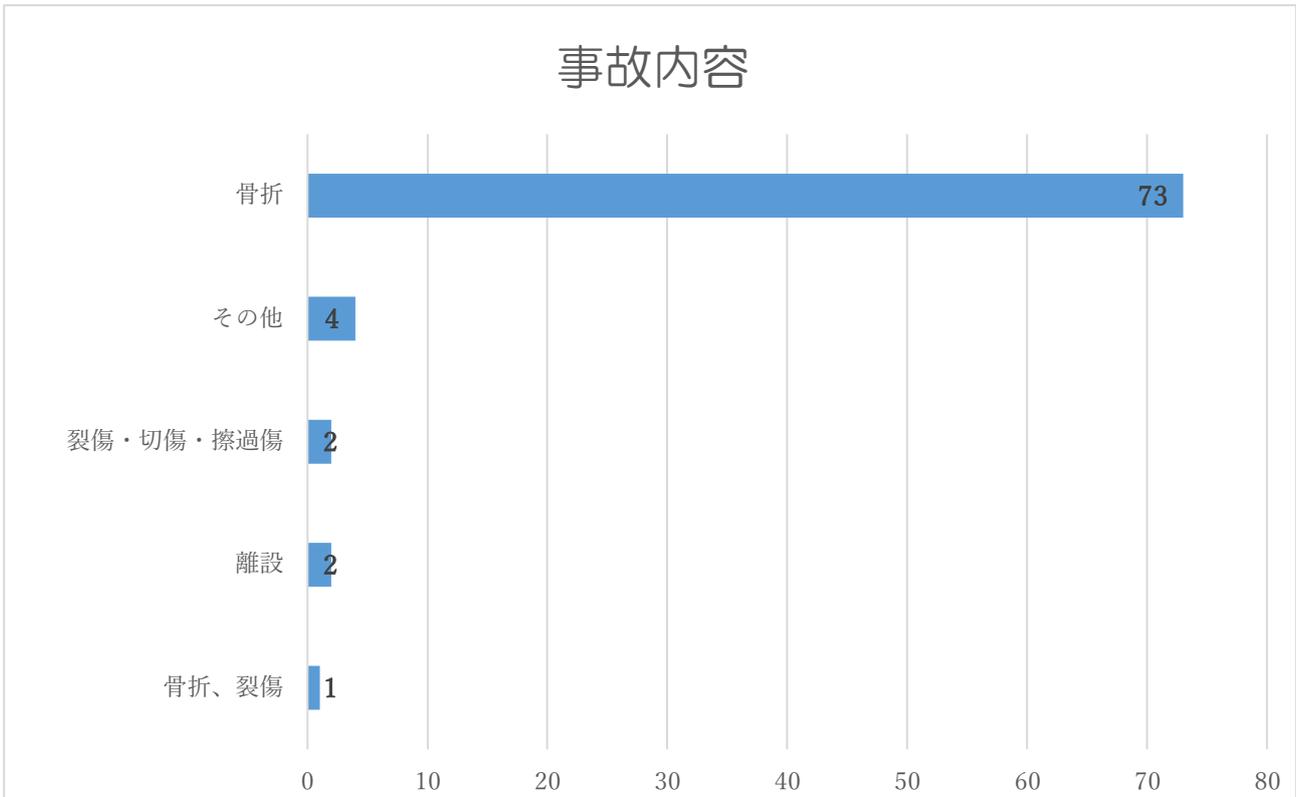
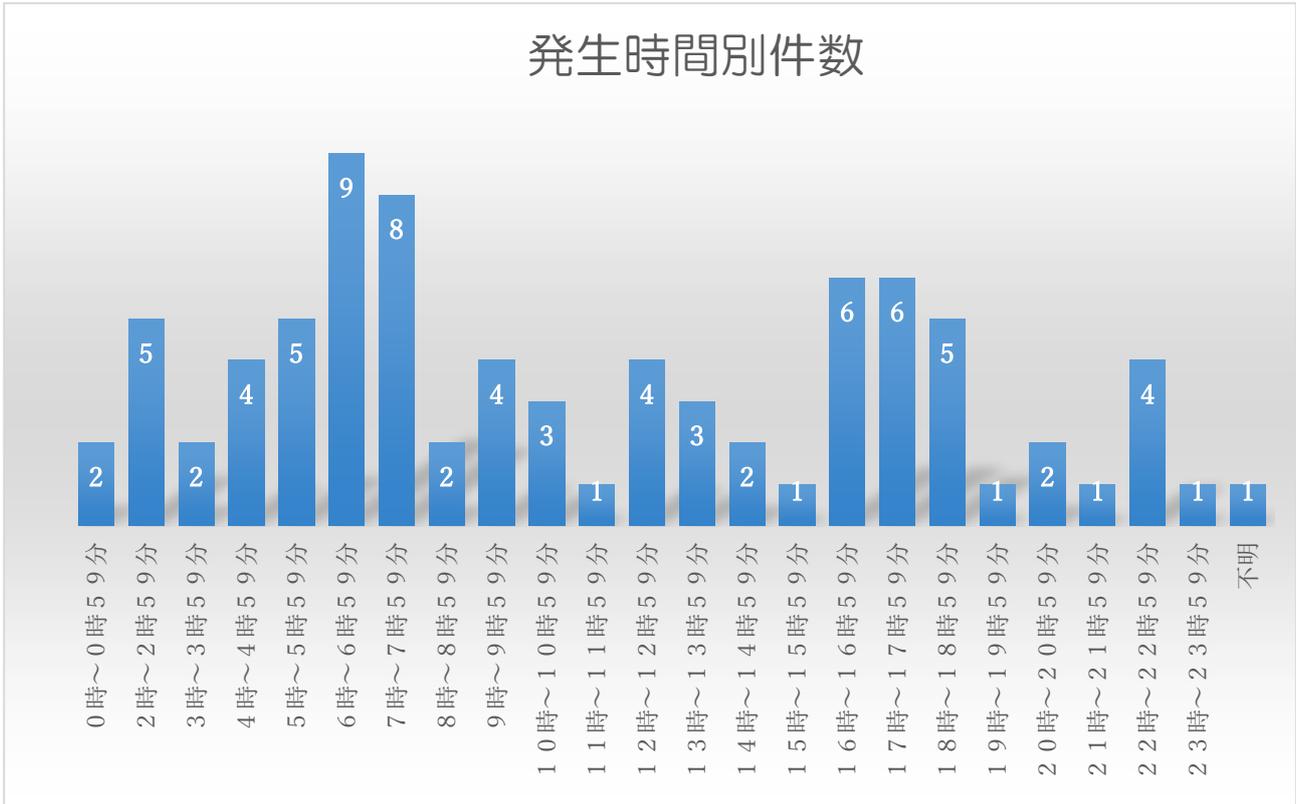


【資料6】サービス別の発生時間、事故内容（※報告数が4件以上のもの）

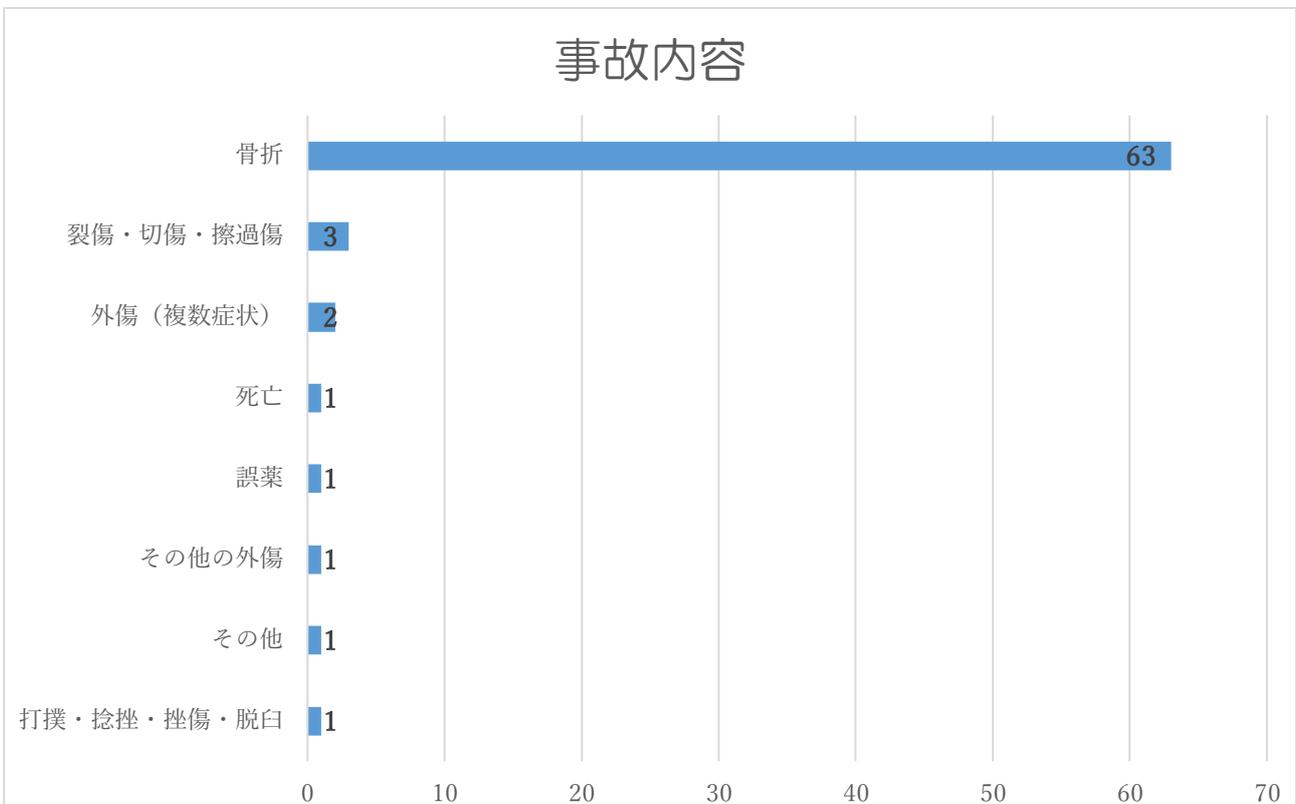
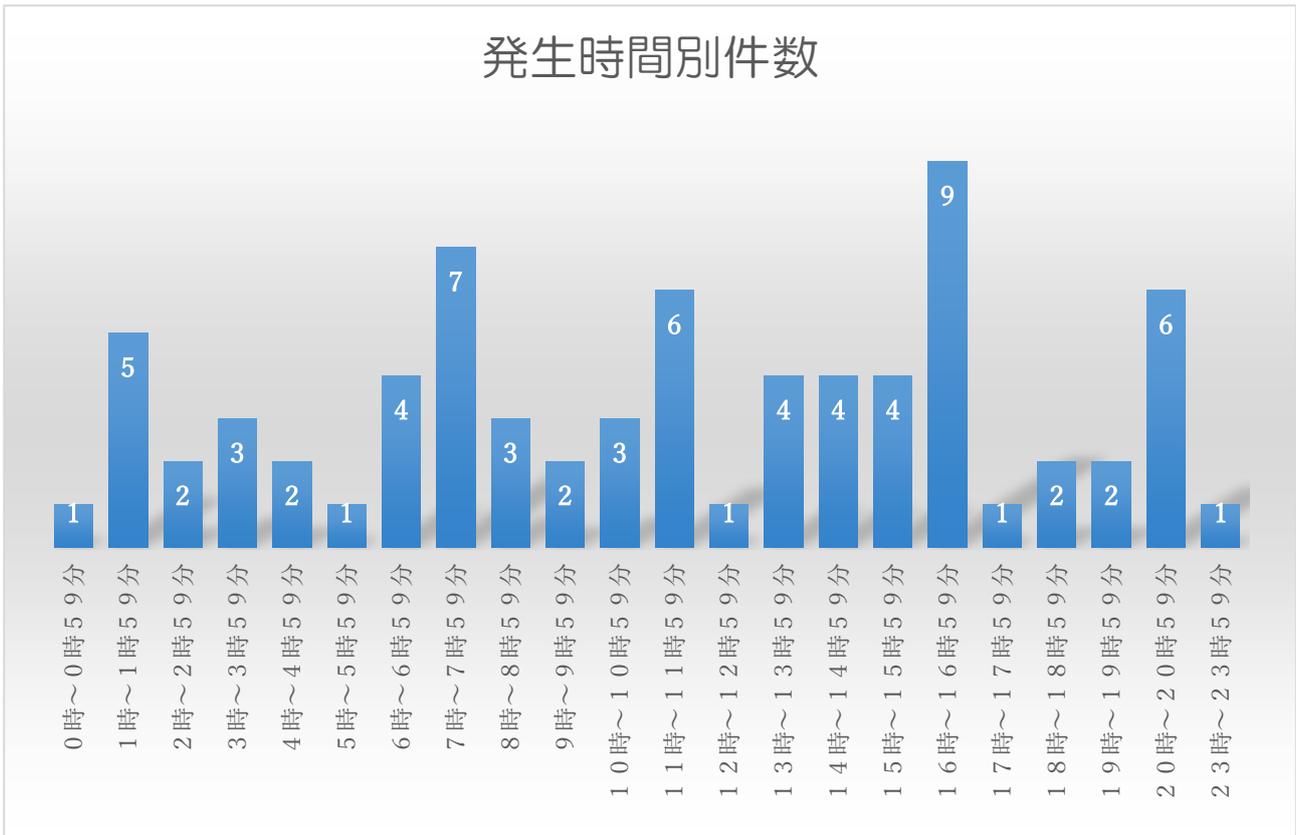
■介護老人福祉施設（地域密着型含む）



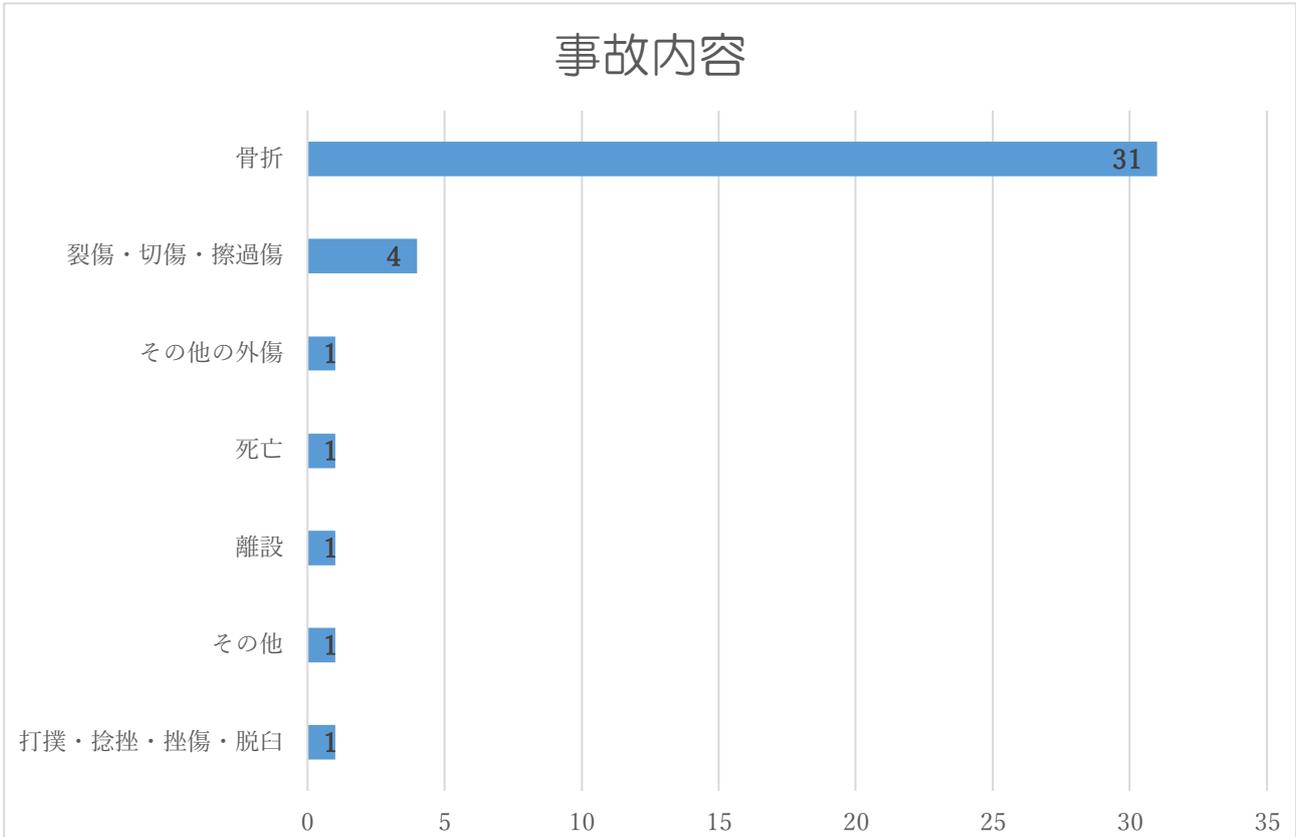
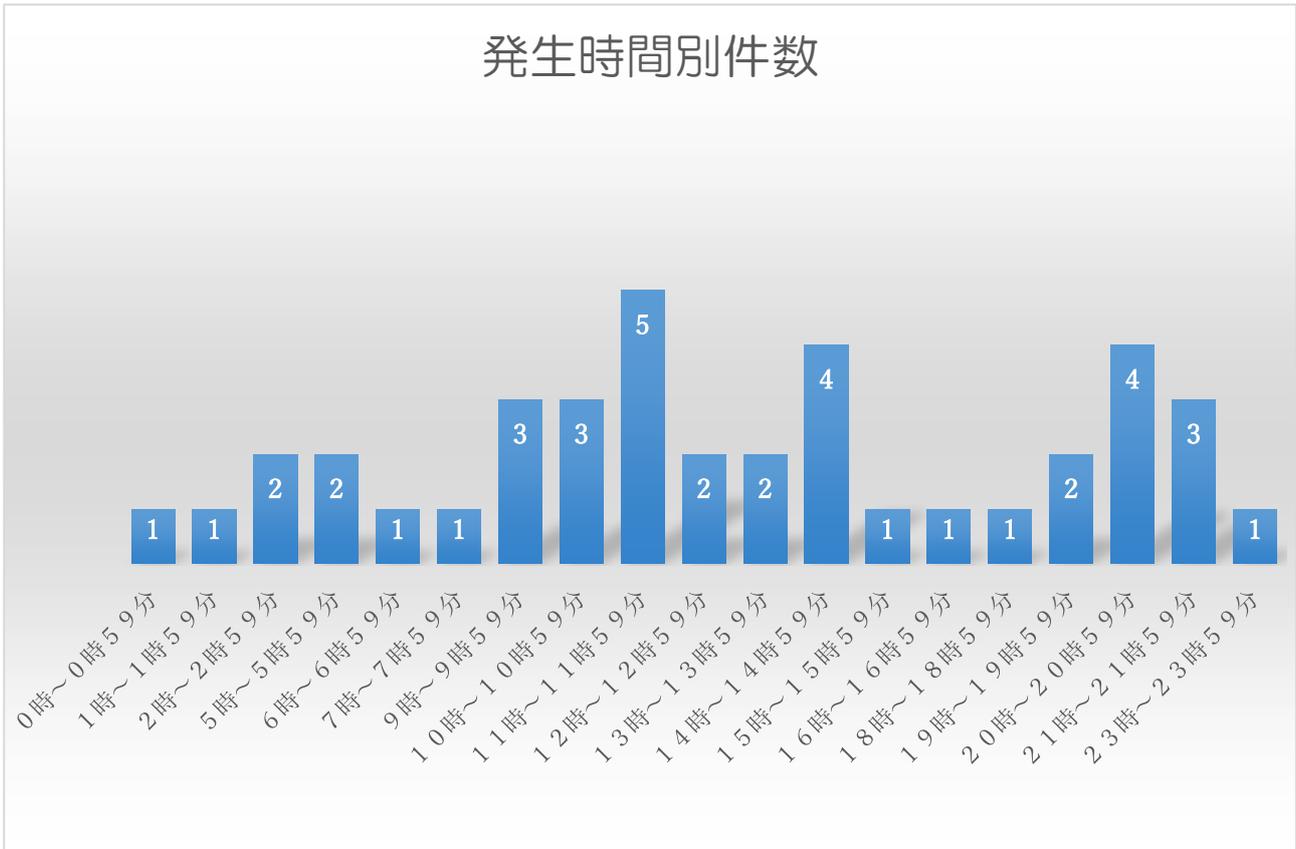
■住宅型有料老人ホーム



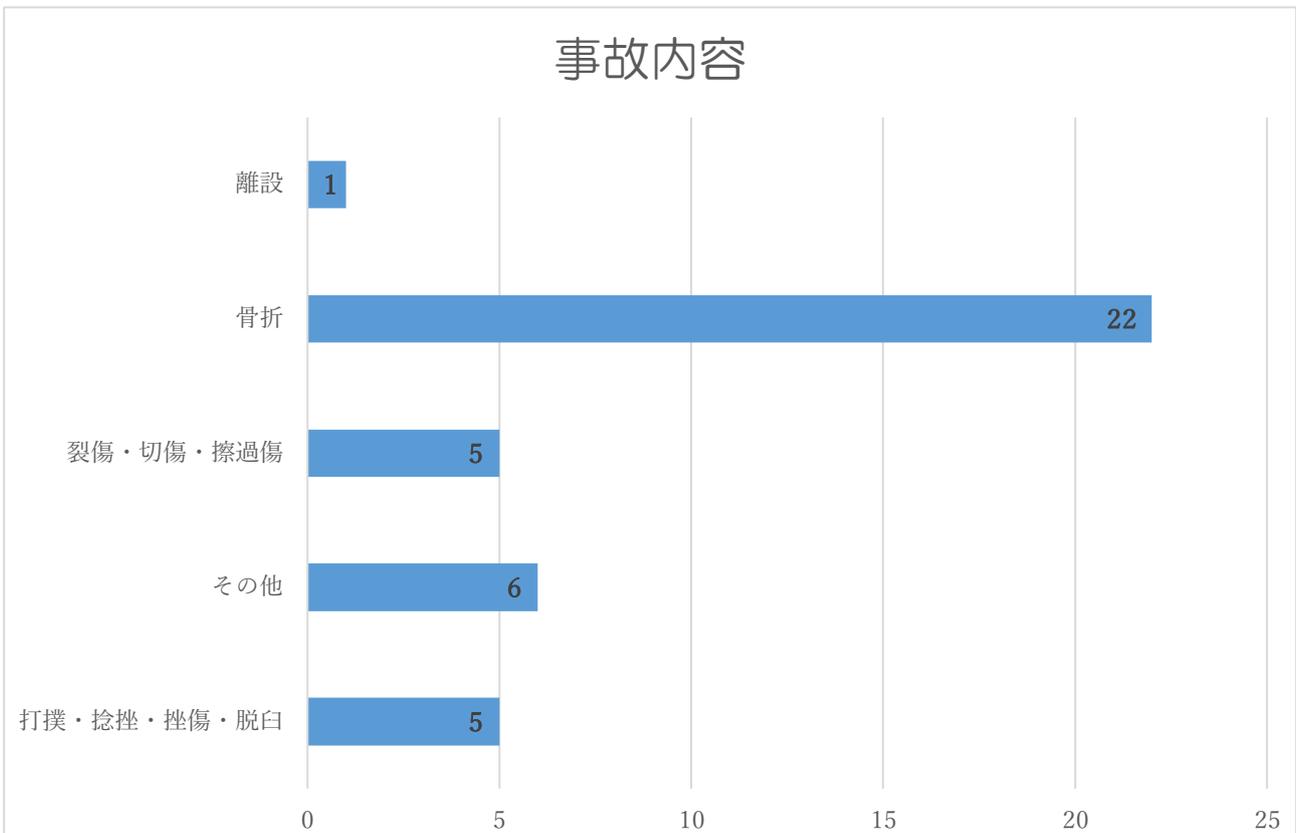
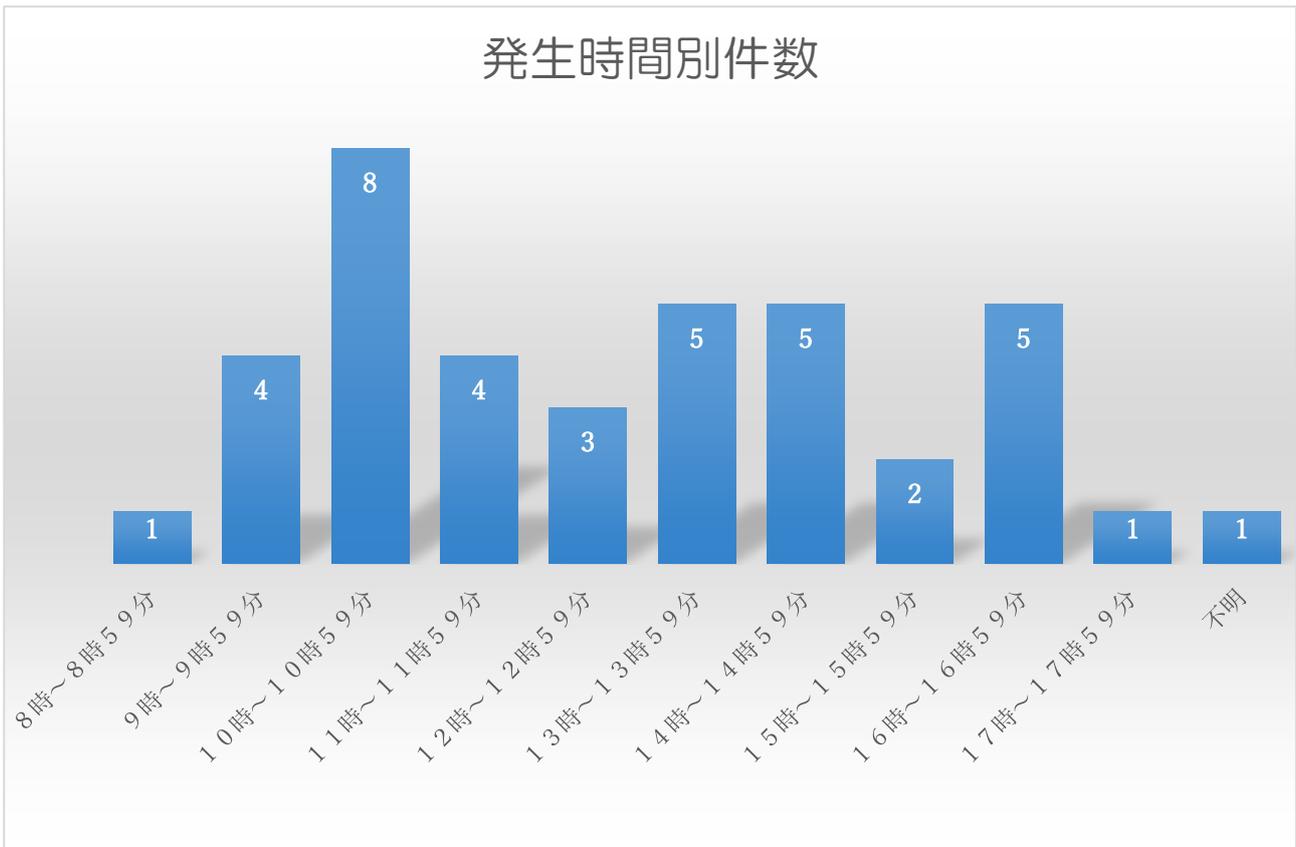
■特定施設入居者生活介護



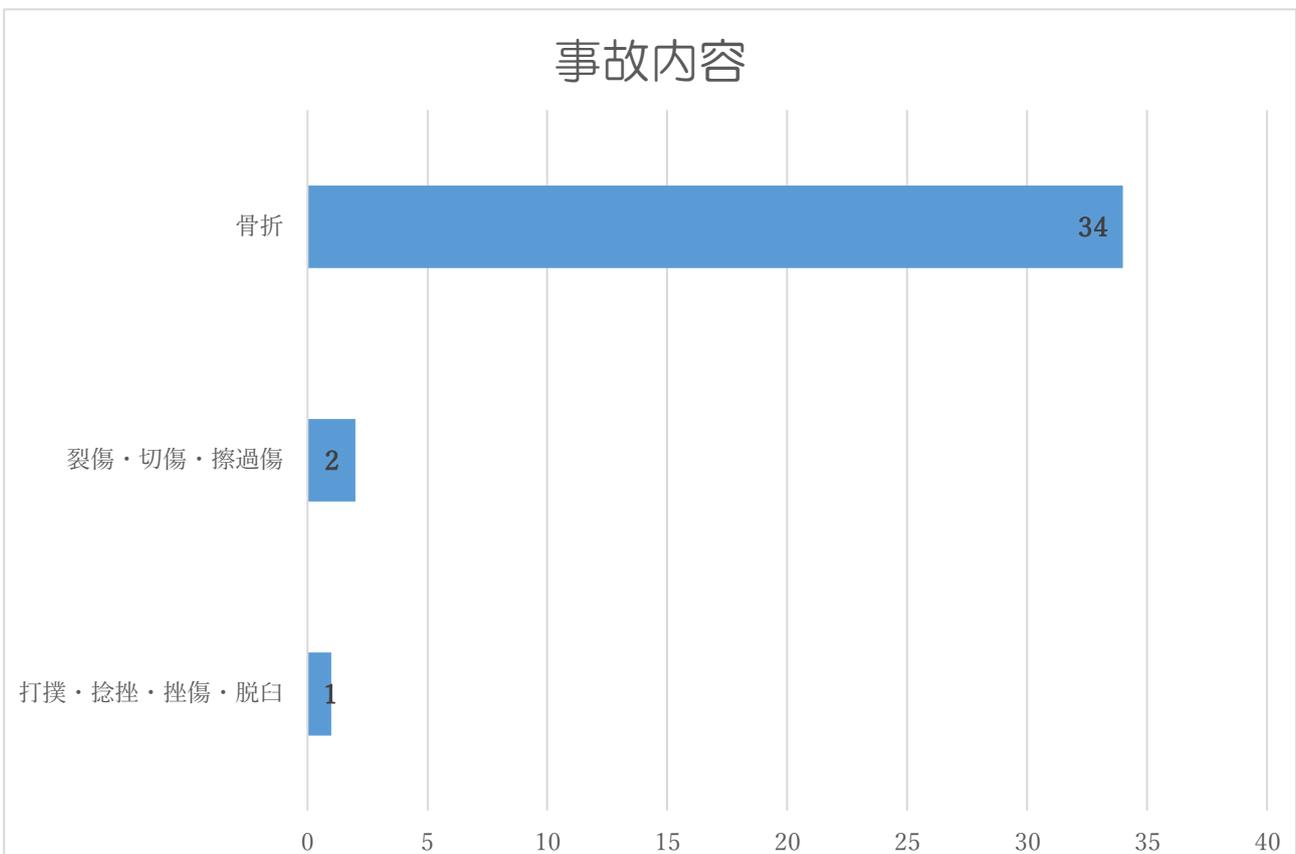
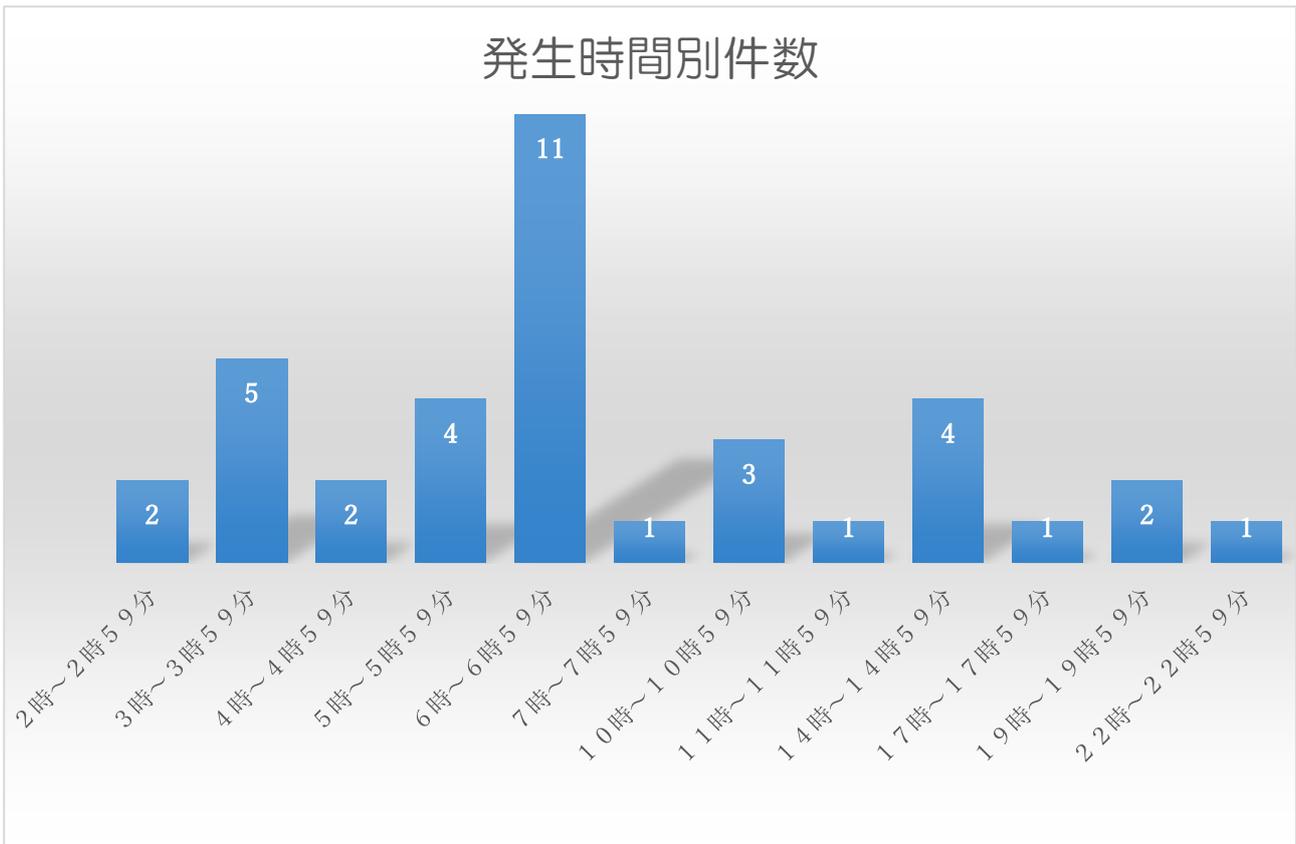
■介護老人保健施設



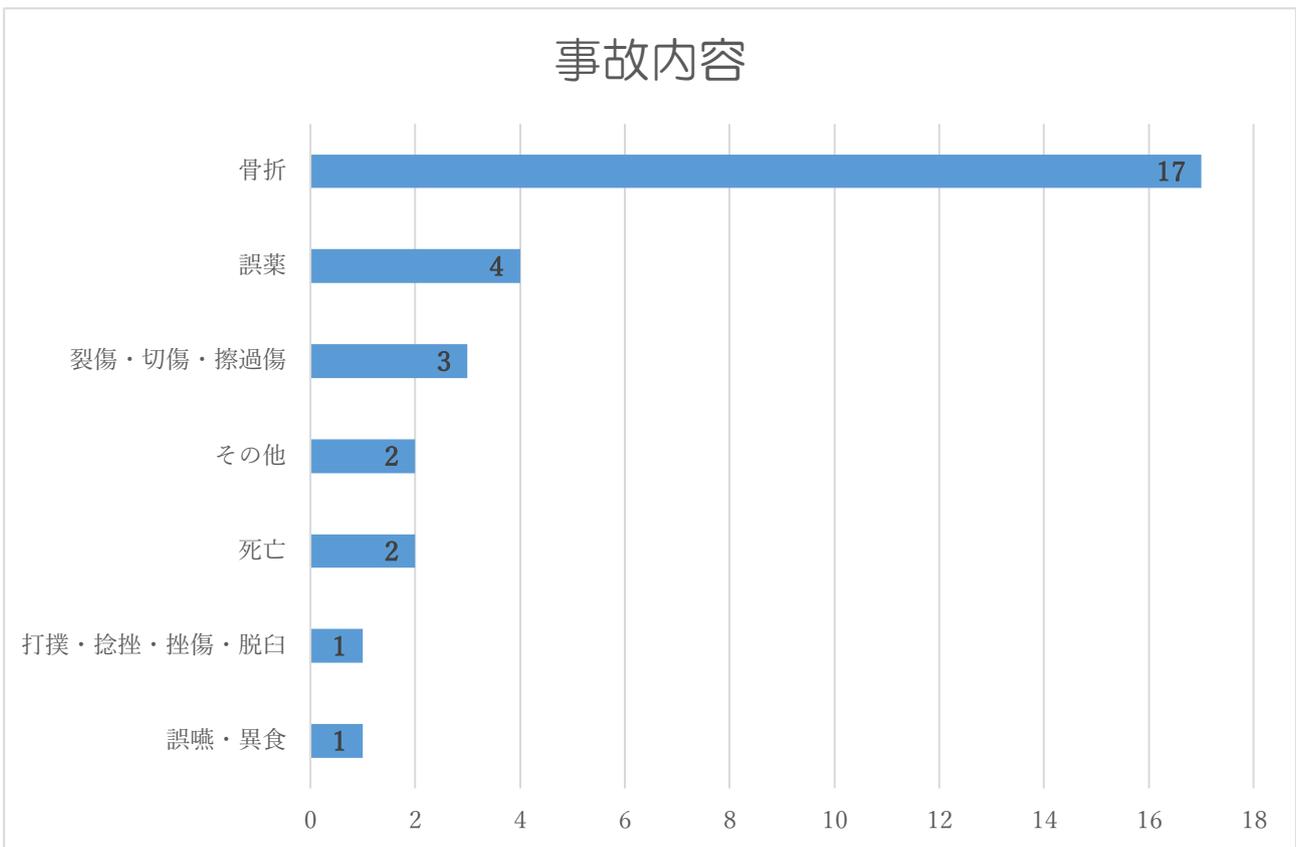
■通所介護(地域密着型含む)



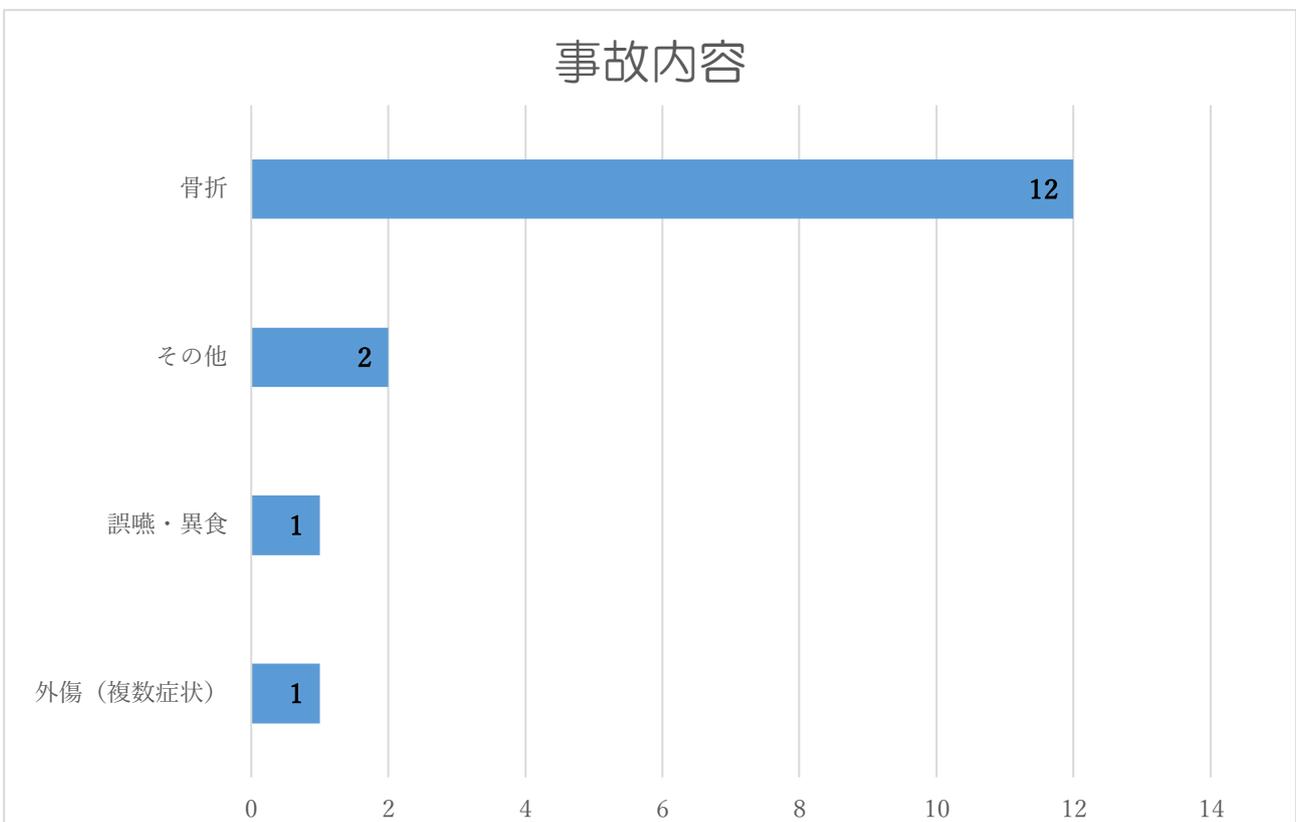
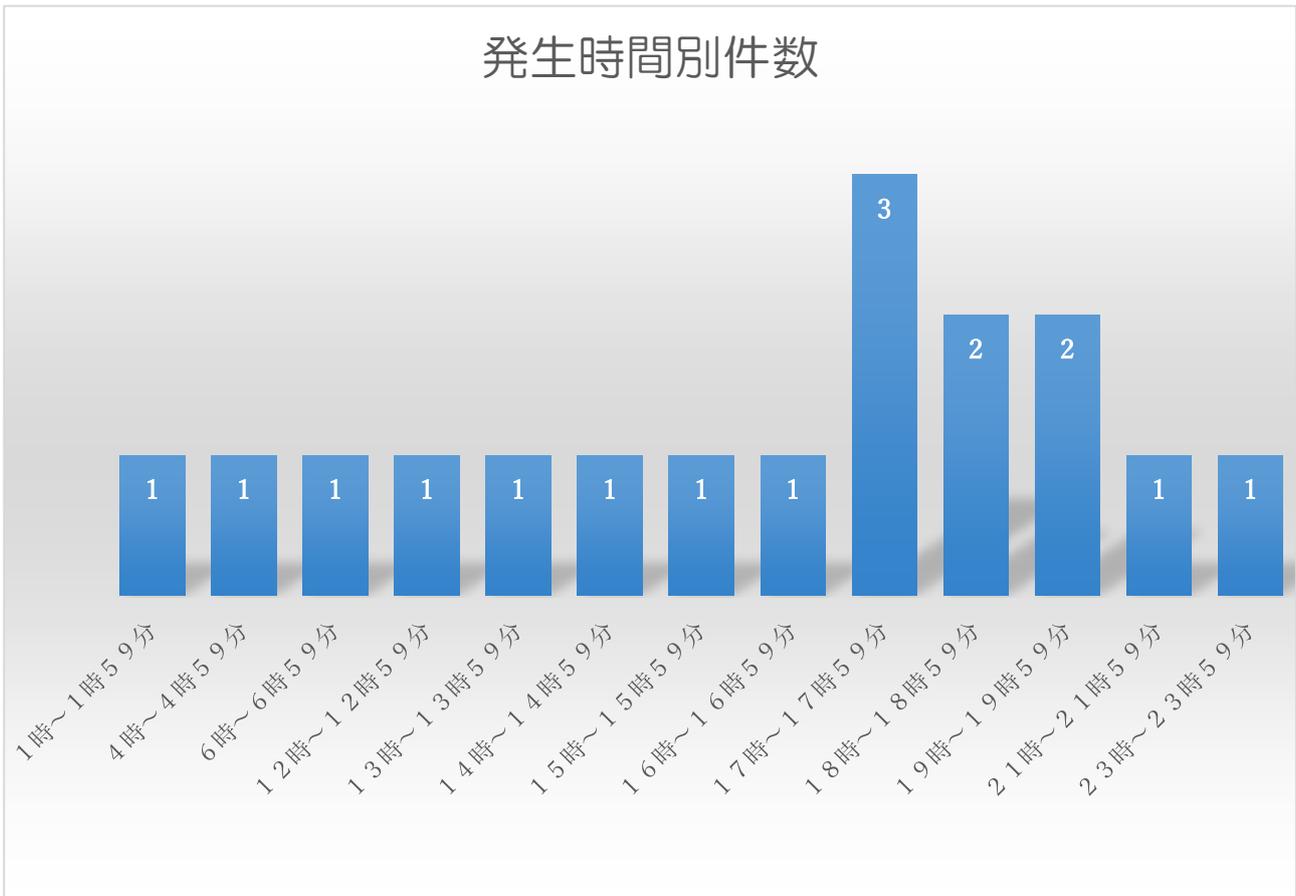
■認知症対応型共同生活介護(地域密着型含む)



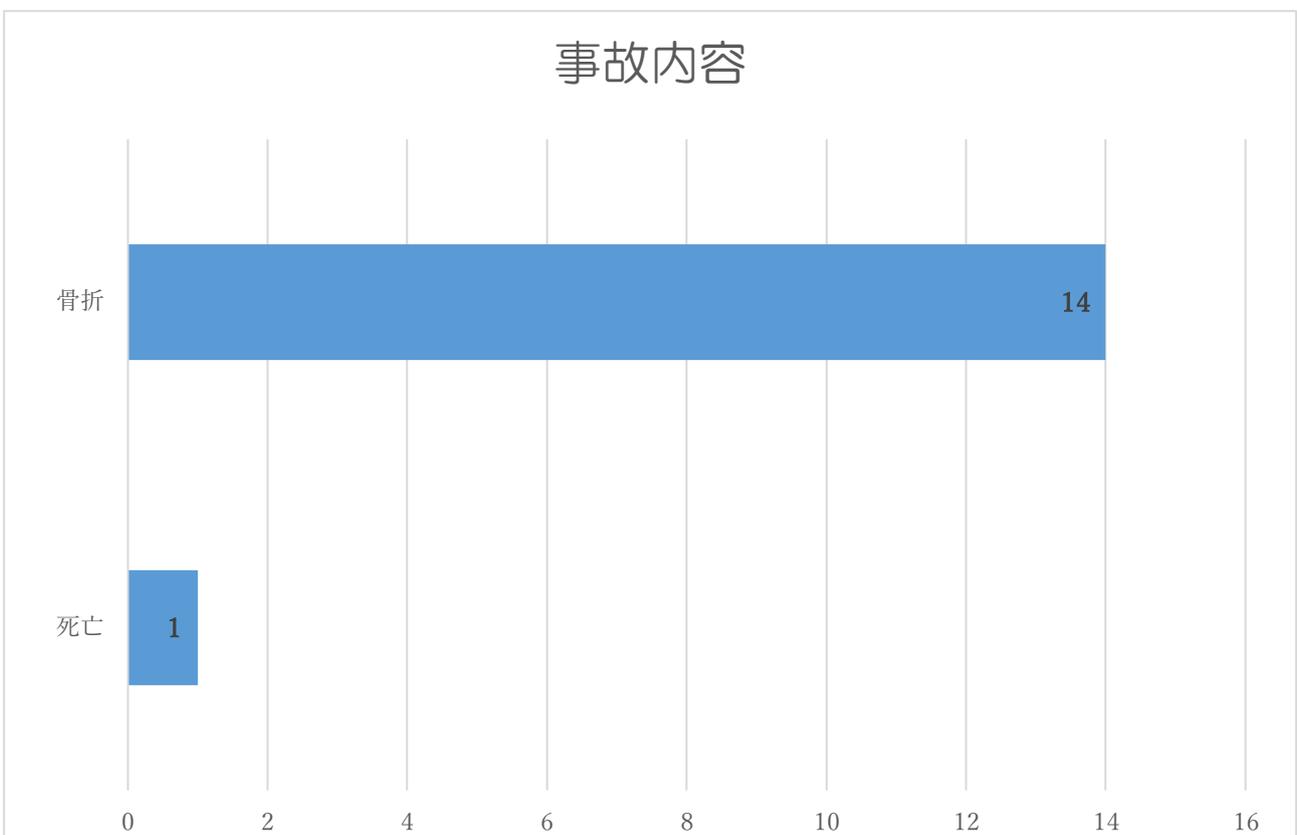
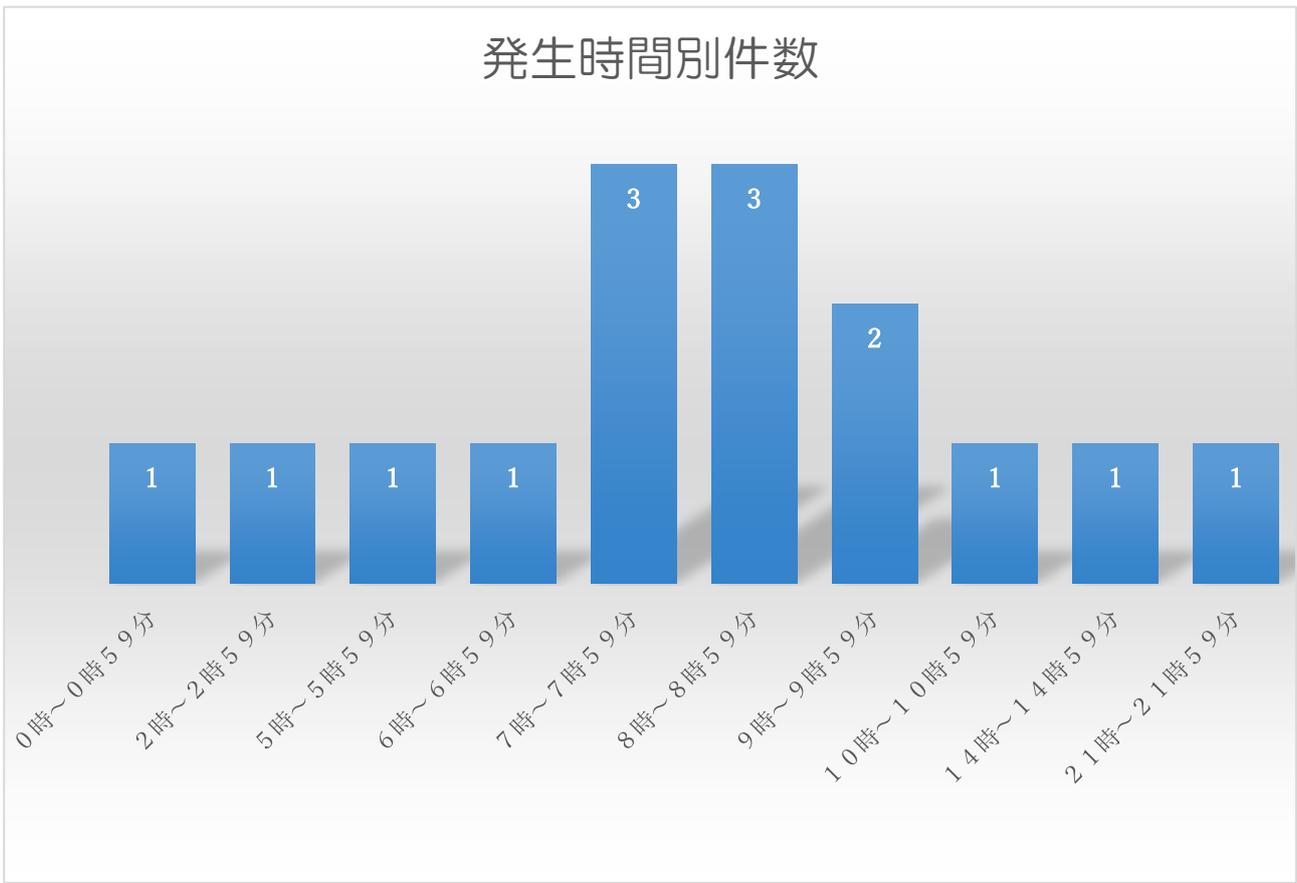
■サービス付き高齢者向け住宅



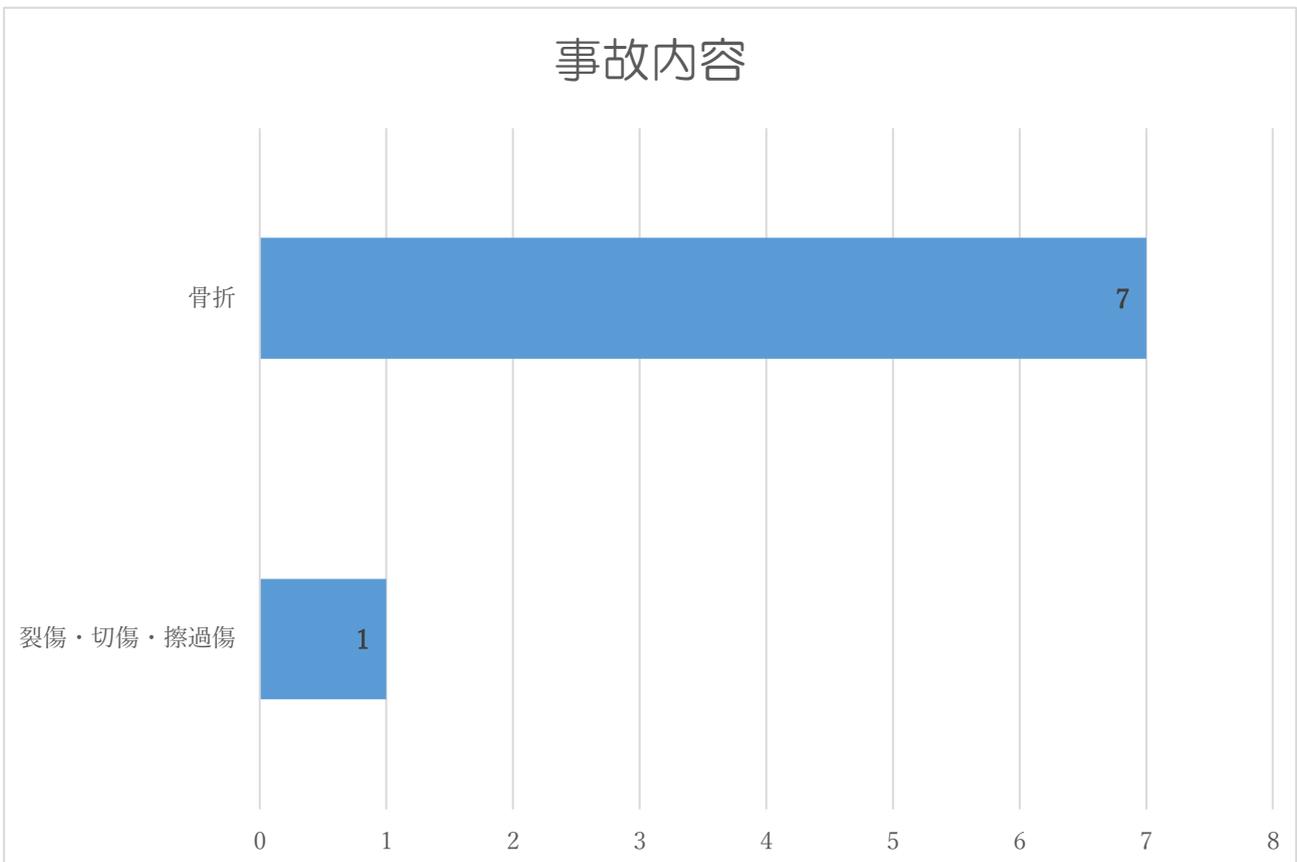
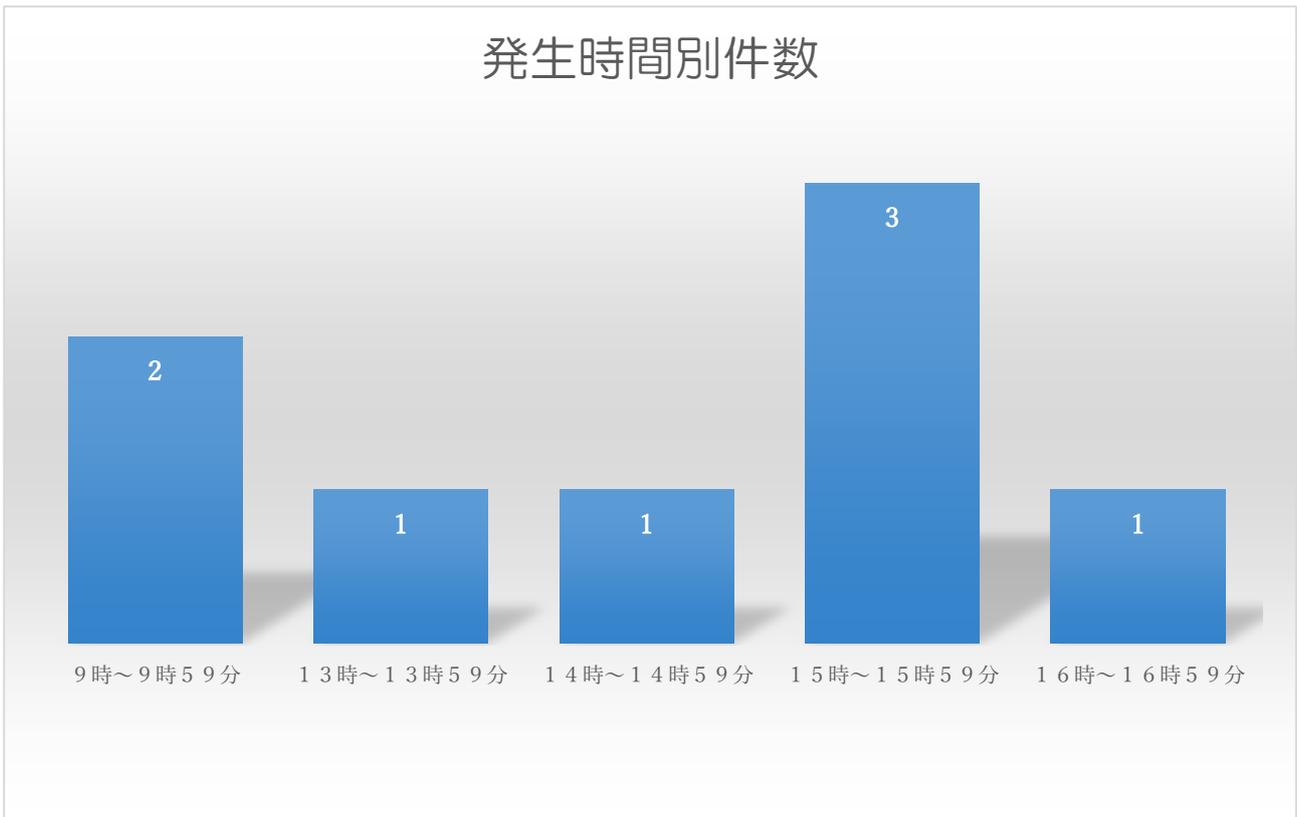
■短期入所生活介護



■軽費老人ホーム



■通所リハビリテーション



■小規模多機能型居宅介護

